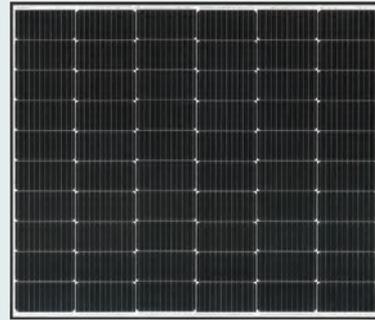
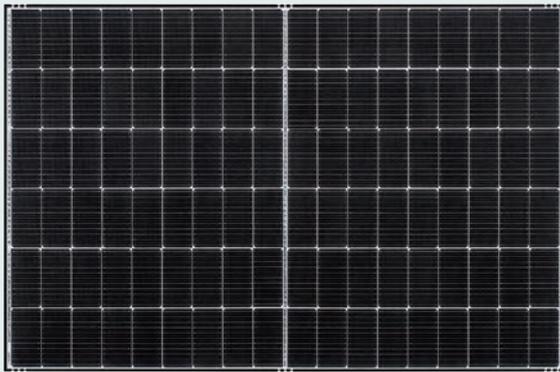


ECONOROOT[®]

エコノルーツ

「創る」を安定、クリーンに
京セラの高信頼性・長寿命太陽電池モジュール



公称最大出力	セル実効変換効率	モジュール変換効率
410w	23.00%	21.00%

型式：KT410W-108HL4B / KT410W-108HL4 ^{※1}

■ 寸法：W1722×L1134×H35 (mm)

■ 質量：25.4kg

横置き

公称最大出力	セル実効変換効率	モジュール変換効率
230w	23.02%	20.76%

型式：KT230W-60HL4B

■ 寸法：W1134×L977×H35 (mm)

■ 質量：15.0kg

横置き 縦置き

屋根に合わせて縦置き・横置きが選択可能
(KT230W-60HL4B)

縦置き・横置きが選べるので、設置スペースを有効に活かした発電システムをご提案できます。



横置き



縦置き

■ 対応屋根材（一例）

スレート

和瓦／平板瓦

縦置き板金

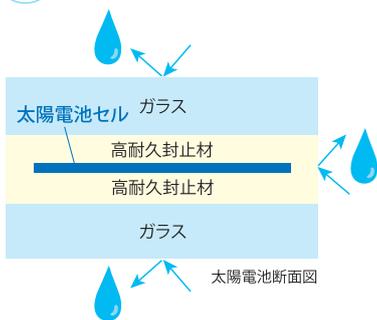
横置き板金

アスファルトシングル

※1：KT410W-108HL4は耐塩害仕様品で、フレームの色はシルバーです。

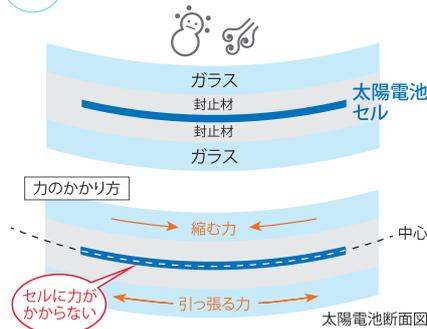
安心の長寿命設計

理由1 水分による出力低下を低減



太陽電池モジュールの劣化の原因の1つに水分の浸入が挙げられます。京セラの太陽電池モジュールは表面/裏面共にガラスに覆われているため水分の浸入がほぼありません。高耐久封止材を使用しているため隙間からの水分の浸入もブロックします。

理由2 積雪や風が原因で発生するセル割れによる出力低下を低減



積雪や風によって太陽電池モジュールが曲がることでセル割れが起こり、出力を低減させます。京セラが採用している両面ガラスなら、曲がってもセルに力がかからないのでセルが割れるのを防ぐことができます。

独自の品質試験



正圧負圧耐久試験



高温・高湿度耐久試験

京セラは独自の試験により、厳しい品質管理を行っており、国際基準であるIEC規格よりも厳しい条件での試験も実施しています。

長期信頼性の実績

京セラの太陽光発電事業の原点、 今も現役で稼働中



1984年、千葉県佐倉市に設立された佐倉ソーラーエネルギーセンター。そこで使われている京セラの太陽光発電事業の原点ともいえる太陽電池モジュールは、現在に至るまで稼働しています^{※1}。



佐倉ソーラーエネルギーセンター太陽電池モジュール出力低下率(当社調べ)

※1: 2023年8月時点。 ※2: 実績データをベースに、さらに出力特性の測定精度・ばらつきなど、外的要因も考慮した数値。当社調べ。

各製品の詳細は
当社ウェブサイトをご覧ください。

製品情報

<https://www.kyocera.co.jp/solar/products/>



●リーフレットに掲載の製品の表示の縮小比率はそれぞれ異なります。 ●「エコノルーツ」「ECONOROOT(S)」は京セラ株式会社の登録商標です。 ●掲載写真は、印刷インキ・撮影状況により、実際の色とは異なって見えることがあります。 ●製品設定、仕様等は予告なく変更する場合があります。 ●一部品切れになる場合もありますので、販売窓口にお確かめの上、お選びください。 ●日本国内仕様のため、日本国外では使用できません。また、無断で海外へ転売・転貸、その他輸出することを禁じます。

京セラ株式会社 エネルギーソリューション事業部

京都市伏見区竹田鳥羽殿町6 〒612-8501

当リーフレットに記載の情報は 2024年7月1日時点のものです。

当リーフレットについては、無断で複製、転載することを禁じます。